

重点戦略プロジェクトの検証

1 「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト

狙い 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり

主な取組状況

住みよい生活環境の充実

- 待機児童解消の促進
- 男性の育児参加の促進

安心できる医療・福祉の充実

- 医療従事者の確保に向けた対応
- 北海道ケアラー支援条例を施行

魅力ある教育環境の整備

- 遠隔授業配信センターを開設

地域を支える交通ネットワークの構築

- 地域別の広域的な「地域公共交通計画」の策定

持続可能な地域産業の振興

- 中小・小規模企業の振興
- 価格高騰等対策

広域連携等による行政サービスの最適化

- 国や道独自の制度による広域連携の推進

数値目標

合計特殊出生率

基準値	目標値	実績値	進捗
1.27 (H30)	全国 水準 (R6)	道 1.12 全国 1.26 (R4)	③ (88.9%)

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合

基準値	目標値	実績値	進捗
75.4% (R1)	増加 (R6)	72.6% (R5)	② (96.2%)

広域連携前進プランに基づく
広域連携取組数

基準値	目標値	実績値	進捗
— (新規)	50件 (R6)	62件 (R4)	① (124.0%)

主な課題

- 若い世代が、仕事と子育ての両立や育児への負担感、さらには、経済的な不安などにより、結婚や子育ての将来展望が描けていないといったことから、**婚姻数や出産数の減少傾向が継続**。
- 医師・薬剤師・看護職員等の**医療従事者の不足**に加え、都市部に集中する**地域偏在**が生じている状況。
- 介護職員は、将来にわたり不足が見込まれる中、現在においても不足している状況。
- 通院・通学など日常生活を支える**生活交通や物流の確保、喫緊の課題であるバスやトラックなど輸送を担う人材不足への対応、持続的な鉄道網の確立が必要**。
- 人口減少や社会構造の変化に対応し、市町村が持続的に多様な行政サービスを提供していくため、**広域連携の推進が必要**。

今後の方向性

- 国の「こども大綱」等を踏まえ、**独自にできることは早期に取り組む**という考えのもと、取組の更なる推進を検討。
- 医師・薬剤師・看護職員等の**医療従事者の確保**や**地域偏在の是正**に向けた取組を着実に実施。
- 介護職員の確保・定着に向けて、就業支援やデジタル化等による職場環境の改善を推進。
- 持続的な交通、輸送ネットワークの確保に向け、地域の関係者と連携・協力して**運転手確保対策や公共交通の利用促進**など各般の施策を推進。
- 広域連携前進プランに基づく**広域連携の取組の推進**や、取組内容の深化に向けた支援を推進。

重点戦略プロジェクトの検証

2 「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト

狙い 多彩な価値・魅力を活かしたしごとづくり

主な取組状況

優位性を活かした産業の創造

- ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組の推進
- 本道の立地優位性を活かした企業誘致の推進

魅力ある食の国内外への展開

- 道産食品の販路拡大・販売促進
- ワイン産業の振興

「観光立国北海道」の再構築

- 感染拡大防止と社会影響活動の影響最小化
- 道内観光の付加価値向上
- ATWS2023の北海道開催
- 「ウポポイ」への誘客促進、アイヌ文化の発信
- 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値発信

一次産業の持続的成長

- 生産性の向上・食料自給率の向上
- 道産木材の利用促進

数値目標

道産食品輸出額

基準値	目標値	実績値	進捗
1,014億円 (H29)	1,500億円以上 (R6)	1,298億円 (R3)	③ (86.5%)

外国人観光客

基準値	目標値	実績値	進捗
312万人 (H30)	— (※)	69万人 (R4)	⑤ (—)

※コロナの影響により設定が困難であることから、設定可能となり次第設定

一人当たり道民所得

基準値	目標値	実績値	進捗
2,710千円 (H28)	10%上昇 (R6)	2,682千円 (R2)	② (90.0%)

主な課題

- 食に関する国内の市場規模が縮小するとともに、中国の日本産水産物の輸入停止措置等により流通・輸出全般にわたり非常に大きな影響。
- 3年間にわたるコロナ禍の影響に加え、原材料価格の高騰等により、観光関連産業は依然として厳しい状況。
- 建設や生産工程、サービスなどの職種をはじめ、様々な業種において人手不足が深刻化。

今後の方向性

- 世界の食糧需要が増加する中、道産食品の輸出拡大に向けて、国際情勢等のリスク分散のため、品目や輸出先に偏らない施策の展開や、一層の付加価値向上を推進。
- 観光入込客増に向けた戦略的なプロモーションや、北海道観光の更なる高付加価値化を推進。
- 多様な働き手の確保・労働移動の促進、就業環境の改善、外国人材の活躍促進を進めるとともに、デジタル化による生産性の向上を推進。

重点戦略プロジェクトの検証

3 「未来をけん引・北海道人」プロジェクト

狙い 未来をけん引する人づくり

主な取組状況

これからの北海道をけん引

- 地学協働の推進
- 若者の未来チャレンジ支援

様々な分野をけん引

- 北の森づくり専門学院を開校
- 人手不足業種への就職促進

あらゆる立場・世代がけん引

- 外国人に選ばれる北海道の実現
- 誰もが働きやすい職場づくり

数値目標

就業率

基準値	目標値	実績値	進捗
56.7% (R1)	各年前年 より上昇 (R2-R6)	56.4% (R4)	① (100.5%)
56.1% (R3)			

本道からの転出と本道への転入の均衡

基準値	目標値	実績値	進捗
▲3,715 人 (H30)	0人 (R5)	4,021人 (R4)	① (208.2%)

主な課題

- 女性や高齢者の就業率をはじめ、**15才以上の人口に対する就業率は、全国平均を下回って推移**。また、本道の卒後3年以内の離職率は全国平均を上回って推移。
- **建設や生産工程、サービスなどの職種をはじめ、様々な業種において人手不足が深刻化**。
- 進学や就職などを主要要因とした**若年層や女性の道外への転出超過が継続**。
- 外国人居住者の増加や居住地の広域分散化、多国籍化が進行。

今後の方向性

- 若者、女性、高齢者、障がい者などの多様な人材の活躍に向けて、**働き手の状況に応じた就業支援や職場環境の整備**を促進。
- 多様な働き手の確保・労働移動の促進、就業環境の改善、外国人材の活躍促進を進めるとともに、**デジタル化による生産性の向上**を推進。
- 若年層や子育て世代をターゲットとした移住促進やU・Iターン促進、関係人口の創出に加え、**女性活躍や、良質で安定的な雇用の場づくり**を推進。
- 多文化共生に向けて、道内各地域において、相談体制や日本語教育などの**外国人の受入環境を整備**。

重点戦略プロジェクトの検証

4 「北海道らしい関係人口の創出・拡大」プロジェクト

狙い 1～3に関わる関係人口の創出・拡大

主な取組状況	数値目標	主な課題	今後の方向性
<p>きっかけ・入口</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道への想いを広める戦略広報 関係人口の創出・拡大イベントの開催 <p>興味関心</p> <ul style="list-style-type: none"> ほっかいどう応援団会議などの官民連携の推進 <p>愛着活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊へのサポート ワーケーションの推進 	—	<ul style="list-style-type: none"> 急速に人口減少が進む本道において、本道に関心・愛着・想いを持っている関係人口は大きな力となっており、更なる創出・拡大が必要。 地域が直面する課題は、<u>一層多様化・複雑化</u>していることから、更なる官民連携の推進が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係人口の創出拡大に向けて、<u>地域おこし協力隊への支援やワーケーション等を推進</u>。 地域の支援ニーズと企業等の応援ニーズとのマッチングを通じて地域の課題解決を図り、更なる取組の充実により地域の活性化を推進。

5 「北海道Society5.0」プロジェクト

狙い 1～3の施策を効率化し、効果を最大化

主な取組状況	数値目標	主な課題	今後の方向性
<p>暮らしの質を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ドローンワンストップ窓口の開設 ドローンの活用実証 <p>価値と魅力を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 宇宙ビジネスの創出と産業化の促進 スマート農林水産業の推進 <p>人づくりの効果を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道ミライづくりフォーラムの開催 	—	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足や医療、保健、介護、福祉、教育の確保など、<u>様々な分野においてデジタル技術を活用した地域課題解決</u>に向けた取組の展開が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や有識者の意見を踏まえながらデジタル技術の実装に向けた取組などを総合的に推進するとともに、その基盤となる<u>地域のデジタル人材育成・確保</u>に向けて<u>産学官で連携</u>して取組を推進。

基本戦略の検証

1 一人ひとりの希望がかない、誰もが活躍できる社会

- 安心して生み育てられる環境の整備
- 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
- 若者、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の活躍

主な取組状況

安心して生み育てられる環境の整備

- 結婚を望む方への支援や社会気運の醸成
- 子育て世帯の経済的な負担の軽減
- 待機児童の解消、仕事と育児が両立できる環境整備
- 子育てなどを地域で支え合う仕組みづくり

教育環境の充実

- 地域の将来を支える人材育成のための高校の魅力化
- 郷土に対する愛着や誇りを育む教育活動の充実

多様な人材の活躍

- 企業と大学等と連携した地域を創る人材の育成
- 若者の道内就職の促進や正規雇用化などの雇用の質の向上
- 女性の能力を發揮しやすい環境の整備
- 働き手の状況に応じた就業支援や職場環境の整備

数値目標・KPI

合計特殊出生率

基準値	目標値	実績値	進捗
1.27 (H30)	全国水準 (R6)	道 1.12 全国 1.26 (R4)	③ (88.9%)

就業率

基準値	目標値	実績値	進捗
56.7% (R1) 56.1% (R3)	各年前年 より上昇 (R2-R6)	56.4% (R4)	① (100.5%)

KPI (64本)

①	②	③	④	⑤
15本	22本	8本	17本	2本

主な課題

- 若い世代が、仕事と子育ての両立や育児への負担感、さらには、経済的な不安などにより、結婚や子育ての将来展望が描けていないといったことから、**婚姻数や出産数の減少傾向が継続。**
- 女性や高齢者の就業率をはじめ、15才以上の人口に対する**就業率は、全国平均を下回って推移。**また、本道の卒後3年以内の**離職率は全国平均を上回って推移。**

今後の方向性

- 国の「こども大綱」等を踏まえ、**独自にできることは早期に取り組む**という考えのもと、取組の更なる推進を検討。
- 若者、女性、高齢者、障がい者などの多様な人材の活躍に向けて、**働き手の状況に応じた就業支援や職場環境の整備**を促進。

基本戦略の検証

2 人口減少下においても、 幸せに暮らし続けることのできる社会

- 将来を見据えたまちづくり
- 健やかに暮らせる医療・福祉の充実
- 地域を支える持続的な交通ネットワークの構築

- 安全・安心な北海道づくり
- 地域の可能性を広げるデジタル化に向けた環境の整備

主な取組状況

将来を見据えたまちづくり

- 誰もが安心して住み続けられるまちづくり
- 安心して心豊かに暮らすことのできる地域共生社会の実現

医療・福祉の充実

- 人口動態を踏まえた医療提供体制の整備
- 地域を支える医療従事者の確保
- 介護人材の確保・定着
- 生涯を通じた健康づくりの推進

交通ネットワークの構築

- 地域の実情に応じた交通ネットワークの維持・確保

安全・安心な北海道づくり

- 防災体制の構築と防災教育の推進
- 防犯などくらしの安全確保

デジタル化に向けた環境整備

- データ利活用に向けた環境づくり
- 道内自治体のDXの推進

数値目標・KPI

「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合

基準値	目標値	実績値	進捗
75.4% (R1)	増加 (R6)	72.6% (R5)	② (96.2%)

KPI (46本)

①	②	③	④	⑤
19本	10本	6本	10本	1本

主な課題

- 医師・薬剤師・看護職員等の医療従事者の不足に加え、都市部に集中する地域偏在が生じている状況。
- 介護職員は、将来にわたり不足が見込まれる中、現在においても不足している状況。
- 通院・通学など日常生活を支える生活交通や物流の確保、喫緊の課題であるバスやトラックなど輸送を担う人材不足への対応、持続的な鉄道網の確立が必要。

今後の方向性

- 医師・薬剤師・看護職員等の医療従事者の確保や地域偏在の是正に向けた取組を着実に実施。
- 介護職員の確保・定着に向けて、就業支援やデジタル化等による職場環境の改善を推進。
- 持続的な交通、輸送ネットワークの確保に向け、地域の関係者と連携・協力して運転手確保対策や公共交通の利用促進など各般の施策を推進。

基本戦略の検証

3 北海道の優位性・独自性を活かして 経済・産業が活性化し、いきいきと働ける社会

- 魅力ある食の国内外への展開
- 農林水産業の持続的成長
- 「観光立国北海道」の再構築
- ものづくり産業をはじめ北海道の発展をリードする産業の振興

- 地域経済を支える中小・小規模企業の振興
- 道外・海外からの投資促進
- 産業をけん引する人づくり
- 働き方改革の推進

主な取組状況	数値目標・KPI	主な課題	今後の方向性								
<p>食の国内外への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 道産食品の高付加価値化、販路拡大 	<p>道産食品輸出額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,014億円 (H29)</td> <td>1,500億円以上 (R6)</td> <td>1,298億円 (R3)</td> <td>③ (86.5%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値	実績値	進捗	1,014億円 (H29)	1,500億円以上 (R6)	1,298億円 (R3)	③ (86.5%)	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する国内の市場規模が縮小するとともに、中国の日本産水産物の輸入停止措置等により流通・輸出全般にわたり非常に大きな影響。 3年間にわたるコロナ禍の影響に加え、原材料価格の高騰等により、観光関連産業は依然として厳しい状況。 建設や生産工程、サービスなどの職種をはじめ、様々な業種において人手不足が深刻化。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の食糧需要が増加する中、道産食品の輸出拡大に向けて、国際情勢等のリスク分散のため、品目や輸出先に偏らない施策の展開や、一層の付加価値向上を推進。 観光入込客増に向けた戦略的なプロモーションや、北海道観光の更なる高付加価値化を推進。 多様な働き手の確保・労働移動の促進、就業環境の改善、外国人材の活躍促進を進めるとともに、デジタル化による生産性の向上を推進。
基準値	目標値	実績値	進捗								
1,014億円 (H29)	1,500億円以上 (R6)	1,298億円 (R3)	③ (86.5%)								
<p>農林水産業の持続的成長</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上・食料自給率の向上 	<p>外国人観光客</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>312万人 (H30)</td> <td>— (※)</td> <td>69万人 (R4)</td> <td>⑤ (—)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※コロナの影響により設定が困難であることから、設定可能となり次第設定</p>	基準値	目標値	実績値	進捗	312万人 (H30)	— (※)	69万人 (R4)	⑤ (—)		
基準値	目標値	実績値	進捗								
312万人 (H30)	— (※)	69万人 (R4)	⑤ (—)								
<p>「観光立国北海道」の再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 量×質の追求 	<p>一人当たり道民所得</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,710千円 (H28)</td> <td>10%上昇 (R6)</td> <td>2,682千円 (R2)</td> <td>② (90.0%)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値	実績値	進捗	2,710千円 (H28)	10%上昇 (R6)	2,682千円 (R2)	② (90.0%)		
基準値	目標値	実績値	進捗								
2,710千円 (H28)	10%上昇 (R6)	2,682千円 (R2)	② (90.0%)								
<p>産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり産業等の振興 	<p>KPI (80本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15本</td> <td>15本</td> <td>13本</td> <td>28本</td> <td>9本</td> </tr> </tbody> </table>	①	②	③	④	⑤	15本	15本	13本	28本	9本
①	②	③	④	⑤							
15本	15本	13本	28本	9本							
<p>中小・小規模企業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小、小規模企業の持続的発展 											
<p>道外・海外からの投資促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 立地優位性を活かした企業誘致 											
<p>産業をけん引する人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手の確保・育成 											
<p>働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業環境の改善 											

(①:現時点で目標を達成している(進捗率100%以上)、②:現時点で進捗率が90%以上100%未満、③:現時点で進捗率が80%以上90%未満、④:現時点で進捗率が80%未満、⑤:現時点で算定不可)

基本戦略の検証

4 北海道に住みたくなる、戻りたくなる魅力にあふれた社会

- 移住・定住の促進
- 外国人材の受入拡大と共生
- 関係人口の創出・拡大
- 航空ネットワークや北海道新幹線等を活用した新たな人の流れの創出
- スポーツによる地域の振興
- 北海道独自の歴史や文化の発信

主な取組状況	数値目標・KPI	主な課題	今後の方向性																		
<p>移住・定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移住・定住推進、U・Iターン就職促進 ● 地域おこし協力隊への支援 <p>外国人材の受入拡大と共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外国人材の受入、多文化共生推進 <p>関係人口の創出・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワーケーションの推進 	<p>本道からの転出と本道への転入の均衡</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▲3,715人 (H30)</td> <td>0人 (R5)</td> <td>4,021人 (R4)</td> <td>① (208.2%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>KPI (28本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7本</td> <td>5本</td> <td>7本</td> <td>9本</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値	実績値	進捗	▲3,715人 (H30)	0人 (R5)	4,021人 (R4)	① (208.2%)	①	②	③	④	⑤	7本	5本	7本	9本	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 進学や就職などを主な要因とした若年層や女性の道外への転出超過が継続。 ● 外国人居住者の増加や居住地の広域分散化、多国籍化が進行。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若年層や子育て世代をターゲットとした移住促進やU・Iターンの促進、関係人口の創出に加え、女性活躍や、良質で安定的な雇用の場づくりを推進。 ● 多文化共生に向けて、道内各地域において、相談体制や日本語教育などの外国人の受入環境を整備。
基準値	目標値	実績値	進捗																		
▲3,715人 (H30)	0人 (R5)	4,021人 (R4)	① (208.2%)																		
①	②	③	④	⑤																	
7本	5本	7本	9本	-																	

5 地域創生を支える多様な連携

- 自治体間の広域的な連携の促進
- 多様な主体との連携体制の構築
- 人口減少対策に関する札幌市との連携強化

主な取組状況	数値目標・KPI	主な課題	今後の方向性																		
<p>広域連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広域連携による持続可能な地域づくり <p>多様な主体との連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ほっかいどう応援団会議を通じた官民連携の推進 <p>札幌市との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少対策共同プログラムの推進 	<p>広域連携前進プランに基づく広域連携取組数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>— (新規)</td> <td>50件 (R6)</td> <td>62件 (R4)</td> <td>① (124.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>KPI (7本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3本</td> <td>1本</td> <td>-</td> <td>3本</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値	実績値	進捗	— (新規)	50件 (R6)	62件 (R4)	① (124.0%)	①	②	③	④	⑤	3本	1本	-	3本	-	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少や社会構造の変化に対応し、市町村が持続的に多様な行政サービスを提供していくため、広域連携の推進が必要。 ● 地域が直面する課題は、一層多様化・複雑化していることから、更なる官民連携の推進が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域連携前進プランに基づく広域連携の取組の推進や、取組内容の深化に向けた支援を推進。 ● 地域の支援ニーズと企業等の応援ニーズとのマッチングを通じて地域の課題解決を図り、更なる取組の充実により地域の活性化を推進。
基準値	目標値	実績値	進捗																		
— (新規)	50件 (R6)	62件 (R4)	① (124.0%)																		
①	②	③	④	⑤																	
3本	1本	-	3本	-																	